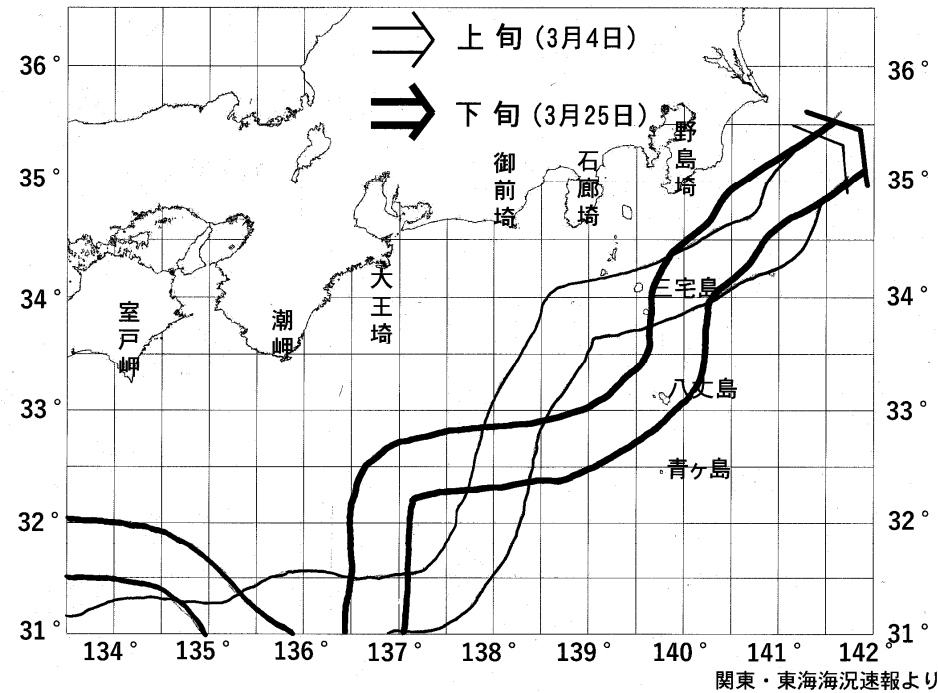


# 漁海況月報

令和4年3月1日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産・海洋技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

3月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	14.3	14.9	14.5	15.1	14.7	15.0
	0.5	0.2	0.2	0.5	0.3	0.8
中旬	15.2	15.4	15.4	16.5	16.1	15.5
	1.1	0.6	1.0	1.7	1.3	0.9
下旬	15.5	16.2	15.2	16.0	16.5	15.9
	1.0	1.0	0.4	0.8	1.3	1.1
月	15.0	15.5	15.0	15.9	15.8	15.5
	0.9	0.6	0.5	1.0	1.0	1.0

\*地頭方の水温観測は終了しました。  
\*2022年平年値(1990-2021年の31年平均値)

## [黒潮流路]

3月を通じてA型で、上旬は潮岬沖を東進し、中～下旬は大きく離岸する流路となった。  
上旬は潮岬沖31.5°N付近を東進し、大王崎～石廊崎沖を北東に流れ、三宅島付近を通過して東北東に流去した。石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。  
中旬は室戸岬沖で31.0°N付近まで大きく離岸し、御前崎沖32.0°N付近まで流れた後、三宅島付近までS字状に北上し東北東に流去した。石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、大島西水道に

向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬沖31.0°N付近まで大きく離岸した後、大王崎沖32.5°N付近まで北上し、八丈島に向けて東北東に流れ、三宅島付近から北東に流去した。

## [県下沿岸域]

上旬は稲取、下田、沼津で「平年並」、伊東、雲見、焼津で「やや高め」であった。中旬は雲見で「高め」、それ以外の地点で「やや高め」であった。下旬は下田で「平年並」、それ以外の地点で「やや高め」であった。

## [竿釣カツオ]

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは3.2トンで前年同月(32.5トン)の10%であった。魚価は875円/kgで前年同月(271円/kg)を上回った。

なお、漁場や魚体サイズは聞き取り調査ができなかったため不明である。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R4年3月上旬	0	0	-	-
中旬	1.3	1	1.3	815
下旬	1.9	4	0.5	916
R4年3月計	3.2	5	0.6	875
R3年3月計	32.5	12	2.7	271
R2年3月計	24.3	14	1.7	733

## [定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は443.0トンで、前年(617.3トン)の72%、平年(377.2トン)の1.2倍であった。また、1か統あたりの水揚量は63.3トン(前年:88.2トン、平年:53.9トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(199.6トン、マイワシ、さば類、スルメイカ)、次いで古網漁場(68.3トン、マイワシ、さば類、マンボウ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、マイワシは269.3トンで、前年比56%、平年比4.1倍であった。ブリは70.9トンで、前年比10.4倍、平年比1.4倍で、銘柄ぶりとわらさが主体であった。スルメイカは40.6トンで、前年比71%、平年比1.7倍であった。さば類は22.1トンで、前年比70%、平年比67%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは14.9トンで、前年比82%、平年比1.4倍、ゴマサバは7.2トンで、前年比54%、平年比26%であった。サワラは6.0トンで、前年比55%、平年比3.6倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚量の割合は、マイワシでは伊豆山漁場が68%(183.7トン)、古網漁場が16%(43.7トン)、ブリでは川奈漁場が44%(30.9トン)、北川漁場が26%(18.5トン)、スルメイカでは富戸漁場が30%(12.0トン)、川奈漁場が20%(8.1トン)、北川漁場が17%(7.0トン)、谷津漁場が17%(6.8トン)、さば類では古網漁場が46%(10.2トン)、川奈漁場が16%(3.6トン)、サワラでは川奈漁場が85%(5.1トン)を占めた。

\*平年:昭和57年～令和3年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	269.3	0.56	4.12	伊豆山、古網
ブリ	70.9	10.43	1.40	川奈、北川
スルメイカ	40.6	0.71	1.70	富戸、川奈、北川、谷津
さば類	22.1	0.70	0.67	古網、川奈
サワラ	6.0	0.55	3.59	川奈

**[サバたもすくい]**

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業し、上旬は利島及び金洲、中旬は金洲、下旬は銭洲に形成された。水揚量はマサバ127トン(前年同月16%)、ゴマサバ37トン(前年同月比8%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ9.0トン(前年同月比59%)、ゴマサバ3.4トン(前年同月比30%)であった。

1kgあたり平均単価はマサバ(86円)、ゴマサバ(75円)共に前月(マサバ:121円、ゴマサバ:100円)を大きく下回り、前年同月(マサバ:79円、ゴマサバ82円)並であった。

水揚げされたマサバ及びゴマサバの体長組成は、マサバは32cm、ゴマサバは28cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年3月上旬	33	4	4	6	5.5	0.7	90	102	利島、金洲
中旬	13	4	1	2	6.3	1.8	105	100	金洲
下旬	81	40	4	6	13.5	6.7	79	70	銭洲
R4年3月計	127	48	9	14	9.0	3.4	86	75	利島、金洲、銭洲
R3年3月計	778	571	16	51	15.3	11.2	79	82	利島、銭洲
R2年3月計	749	282	11	37	20.2	7.6	81	128	銭洲

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[サクラエビ船曳網]**

令和4年の春漁は3月30日が初漁日であった。3月の出漁日数は1日、水揚量は0.9トンであった(前年同月の出漁日数は2日、水揚量は5.7トン)。主漁場は田子の浦沖、焼津沖であった。(田子の浦沖は試験操業)。漁獲されたサクラエビの体長組成は33~35mmと29~31mmにモードがあった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
R4年3月上旬	—	—	—
3月中旬	—	—	—
3月下旬	0.9	1	田子の浦沖(試験操業)、焼津沖
R4年3月計	0.9	1	—
R3年3月計	5.7	2	三保沖、焼津沖
R2年3月計	—	—	—
H31年3月計	10.3	2	用宗沖~焼津沖、相良沖

\*—:出漁なし

**[シラス船曳網]**

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が87kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が386kgであった。平均水揚量は284kgと前年同期(511kg)の55.6%、平年同期(過去5か年平均:505kg)の56.3%であった。また、総水揚量は153.0トンで前年同期(377.9トン)の40.9%、平年同期(338.2トン)の45.2%と、前年、平年同期ともに下回った。平均単価は578円/kgと、前年同期(584円/kg)の99.0%、平年同期(687円/kg)の84.1%と、前年同期並で、平年同期を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	15.6	4	42	371	377
舞 阪	46.9	4	153	306	464
福 田	41.9	5	113	371	389
御前崎	32.8	5	47	698	806
吉 田	6.5	3	78	83	1,034
静 岡	9.4	6	105	89	1,209
R4年3月計	153.0	27	538	284	578
R3年3月計	377.8	33	739	511	584
R2年3月計	430.0	30	708	607	485

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年:過去5か年(平成29~令和3年)平均値

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、沼津港では1,830.2トン(前年同月比78.3%、平年同月比1.3倍)、小川港では1,258.0トン(前年同月比2.1倍、平年同月比2.4倍)、伊東港では146.0トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比93.0%)、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港のいずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは269.3トン、カタクチイワシは0.5トンであった。

\*平年:過去5か年(平成29~令和3年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

3月 1日 ~ 3月 1日	ドックへ回航(三保造船所)	(1日間)
3月 2日 ~ 3月 5日	地先定線観測調査及び漁船第18長宝丸搜索活動	(4日間)
3月 7日 ~ 3月 7日	搭載機器調整及び習熟航海	(1日間)
3月 8日 ~ 3月 8日	搭載機器調整及び習熟航海	(1日間)
3月 14日 ~ 3月 15日	漁労機器調整習熟、さば類標識放流及び無線訓練	(2日間)
3月 29日 ~ 3月 29日	漁労機器調整習熟航海	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

